

報道関係者各位

9月の夜空をゴールドに ～ 世界的な小児がん啓発キャンペーン ～

Global Gold September Campaign

ゴールドセプテMBERキャンペーン



9月 日本全国117か所でライトアップ展開！ 9月9日啓発イベント

主催：NPO法人日本小児がん研究グループ

Global Gold September Campaign（通称：ゴールドセプテMBERキャンペーン）とは…

「Global Gold September Campaign（ゴールドセプテMBERキャンペーン）」は、毎年9月に各国それぞれの地域を象徴する建物や遺跡・橋・自然資産などを金色（小児がん支援のテーマカラー）にライトアップし、小児がん治療の重要性を啓発するとともに、子どもたちに必要な医療や研究に「光を照らす」イベントです。小児がんの患者さんとその両親、小児がん経験者の強い思いによって始まり、今では世界中で広く支持される一大キャンペーンとなりました。

日本でも、この9月にゴールドセプテMBERキャンペーンを開催します。北海道から沖縄まで117か所（8月16日現在）のライトアップを予定しており、9月9日には神奈川県立こども医療センターを会場に、オンラインにて「あったらいいな、こんなサポート」をテーマとしたトークセッションと、ライトアップカウントダウンや各地のライトアップ紹介・中継を行います。

このキャンペーンは、国内では2021年に15か所のライトアップで始まり、「あたたかいゴールドが希望の光となる」と患者さんらの反響も大きく、2021年38か所、2023年69か所、今年の117か所…と着実に輪がひろがっています。

小児がんには子ども特有の支援や理解が必要ですが、乳がんのピンクなどと比べてもゴールドの認知度はまだ低く、報道各社の皆様には取材と報道をぜひよろしくお願い申し上げます。

※ゴールドセプテMBERキャンペーン ホームページ

<https://www.g-gsc.com/>

※昨年のゴールドセプテMBERキャンペーンをまとめたニュースレター

<https://jccg.jp/wp-content/uploads/3d0b0e1a8182bdf100476bdd627a3624.pdf>

2024年9月 日本各地のライトアップ予定 全国 117か所

Global Gold September Campaign

ゴールドセブテンバーキャンペーン 2024年ライトアップ予定

①北海道：さっぽろテレビ塔 9/9

②青森県：弘前城 9/7~9
③青森県：八戸市総合保健センター 9/3~9
④宮城県：仙台スカイキャンドル 9/5~11
⑤宮城県：東北大学病院 9/1~30
⑥宮城県：宮城県立こども病院 正面入口 石路板 9/1~30
⑦宮城県：宮城大学大和キャンパス 9/5~30
⑧宮城県：宮城こどもホスピスプロジェクト「川平のおうち」9/5~11
⑨宮城県：伊達政宗公騎馬像 9/1~30
⑩宮城県：アクアイグニス仙台 9/7
⑪福島県：福島市東北電力電波塔 9/1~8
⑫福島県：会津鶴ヶ城 9/1~8

⑬茨城県：つくばセンター広場 9/8
⑭栃木県：栃木県昭和館 9/9
⑮群馬県：陸江閣と日本庭園 9/9~11
⑯埼玉県：さいたまスーパーアリーナ 9/9
⑰埼玉県：埼玉スタジアム2002 9/9
⑱埼玉県：埼玉県立がんセンター 9/9,9/16
⑲埼玉県：埼玉県立小児医療センター 9/1~30
⑳埼玉県：東武動物公園 9/1~30
㉑埼玉県：県民活動総合センター 9/1~7
㉒埼玉県：彩の国さいたま芸術劇場 9/3~9
㉓千葉県：千葉都市モルメルセントラルアーチ 9/9

⑳神奈川県：神奈川県本庁舎 9/3~9
㉑神奈川県：横浜市庁舎 9/3~9
㉒神奈川県：よこはまコスモワールド「コスモロック21 (大観覧車)」9/3~9
㉓神奈川県：横浜マリンタワー 9/3~9
㉔神奈川県：横浜ハンマーヘッド 9/3~9
㉕神奈川県：アングェルビルみなとみらい横浜 9/3~9
㉖神奈川県：象の鼻パーク 9/3~9
㉗神奈川県：女神橋 9/3~9
㉘神奈川県：神奈川県立こども医療センター 9/9~30
㉙神奈川県：横浜こどもホスピス うみとそらのおうち 9/7~9
㉚神奈川県：みんなのレノードの会事務所 9/9
㉛神奈川県：伊勢原協同病院 9/18
㉜神奈川県：東海大学医学部付属病院 9/18
㉝神奈川県：お風呂の王様 町田店 9/7~8
㉞神奈川県：平塚駅南口広場人魚噴水公園 (確認中)
㉟神奈川県：江の島シーキャンドル 9/15~16
㊱神奈川県：秦野市戸川公園 9/6~8
㊲神奈川県：小田原城 9/6~8
㊳神奈川県：松田山ハーブガーデン 9/6~8

①新潟県：上越高田城 9/8~10
②福井県：福井城址 9/2~8
③福井県：福井駅前
恐竜モニュメント X: 117.23 mm Y: 73.29 mm ~8
④福井県：丸岡城 9/1~30

⑤岐阜県：岐阜市役所 9/9
⑥静岡県：駿城公園異櫓 9/9
⑦静岡県：静岡行倉本館ドーム「あおいの塔」9/1~30

⑧愛知県：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 9/1~30
⑨愛知県：中部電力MIRAI TOWER 9/9
⑩愛知県：オアシス21水の宇宙船 9/9

⑪奈良県：天理駅前広場コフアン (確認中)
⑫和歌山県：和歌山城ホール 9/7~9

⑬兵庫県：多可町文化会館ベルディーホール 9/1~30
⑭兵庫県：しおさい公園 (BE KOBE モニュメント) 9/21
⑮兵庫県：メリケンパーク (BE KOBE モニュメント) 9/21
⑯兵庫県：かもりあり 9/21
⑰兵庫県：ハーバーランド線照明灯 9/21
⑱兵庫県：フラワーロード (光のミュージアム) 9/21
⑲兵庫県：ポーターニナル西デッキ 9/21
㉑兵庫県：神戸海洋博物館 9/21
㉒兵庫県：三宮プラッツ 9/21
㉓兵庫県：市章山電飾 9/21
㉔兵庫県：神戸海洋博物館 9/21
㉕兵庫県：神戸市役所1号館 9/21
㉖兵庫県：神戸市立博物館 9/21
㉗兵庫県：神戸大橋 9/21
㉘兵庫県：鐘山電飾 9/21
㉙兵庫県：兵庫運河新川プロムナード 9/21
㉚兵庫県：明石海峡大橋 9/21
㉛兵庫県：六甲アイランド・リバーモール 9/21
㉜兵庫県：兵庫県立小田高校 (確認中)

①東京都：東京都立小児総合医療センター (確認中)
②東京都：調布市文化会館 たづり 9/1~30
③東京都：調布花火 9/21
④東京都：東京スカイツリー 9/9

⑤徳島県：徳島県庁 9/5~11
⑥徳島県：徳島大学病院 (確認中)
⑦徳島県：徳島県立中央病院 (確認中)
⑧徳島県：徳島中央公園鷺の門 (確認中)
⑨香川県：うたづ海ホテル (確認中)
⑩香川県：高松シンボルタワー 9/1~10
⑪愛媛県：愛媛県庁 9/4~10
⑫愛媛県：松山市総合福祉センター 9/7
⑬愛媛県：大洲城 9/7~8
⑭愛媛県：道後聖母幼稚園 9/7~8
⑮愛媛県：八十八ヶ所霊場第51番札所 石手寺 9/7~8
⑯愛媛県：愛媛大学医学部附属病院 9/9

⑰沖縄県：沖縄アリーナ 9/9
⑱沖縄県：沖縄こどもホスピス建設予定地 9/1~30
⑲沖縄県：沖縄市中央パークアベニュー 9/7~23
⑳沖縄県：中城城址 8/8
㉑沖縄県：FMよみたん 9/9

①福岡県：小倉城 9/6~8
②福岡県：赤煉瓦文化館 9/8~14
③福岡県：博多ポートタワー 9/8~14
④福岡県：福岡市総合体育館 9/8~14
⑤福岡県：北九州市モルメル 9/1~9
⑥佐賀県：佐賀メディカルセンタービル 9/9
⑦長崎県：稲佐山山頂電波塔 9/9~11
⑧熊本県：熊本城 9/14
⑨宮崎県：宮崎県庁 9月中

⑩島根県：出雲大社 9/14
⑪島根県：松江城 9/14
⑫島根県：島根県立しまね海遊館アグアス 9/14
⑬島根県：TSKさんいん中央テレビ 9/14
⑭岡山県：岡山城県庁正面玄関ビロティ 9/7
⑮広島県：広島城 9/11
⑯山口県：オーヴィジョン海峡ゆめタワー 9/9

2024/08/15 更新情報

※電力需給ひつ迫などの緊急時には、予定変更の可能性あります。

ゴールドセブテンバーキャンペーン公式キャラクター



「Global Gold September Campaign 2024」開催概要



1. 名称：Global Gold September Campaign 2024（ゴールドセプテンバーキャンペーン）
2. テーマ：「小児がんの闘病と支援、みんなに金メダルを！
～こんな風に治療がんばってます～わたしには何ができるだろう」
3. 期間：2024年9月1日～30日
4. メインイベント日時：2024年9月9日(土) 18:30～(オンライン 中継基地 神奈川県立こども医療センター)
5. 内容：小児がんの啓発カラーゴールドのライトアップを中心にした小児がんに関する啓発活動
(各地で「Smile Action」と題した啓発活動を展開予定)
6. 主催：特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ(JCCG)
メインイベント共催：一般社団法人 旭くん光のプロジェクト
運営：Global Gold September Campaign 推進委員会

Smile  Action

7. 目的： 【小児がんの社会啓発】

小児がんが子どもの健康と生命にとって非常に重要な問題であるということを理解していただくことが第一の目的です。子どもにもがんがあることはあまり知られていませんが、白血病や脳腫瘍などの小児がんは10～14歳の子どもの死因の第1位です。まだ救えない命を救うための治療の開発や、治療を終えた子どもがその先の長い未来を安心して健康に過ごせるようなサポート体制の確立など、課題は山積んでいます。

小児がんは成人がんとは異なり、ほとんどは原因が不明で予防方法がありません。生活習慣病などが原因となったり、早期検診が早期発見につながったりする成人がんとは事情が異なります。

また、小児がんの治療は厳しく長いことが多く、子どもたちや家族、医療従事者らには、なかなか社会的な声をあげる余裕がありません。そのため、乳がんのピンクリボンキャンペーンのような大きな啓発が進んでいない現状です。小児がんが生命予後や治療後の後遺症なども病気として重いことや、小児ならではのさまざまなサポートが必要とされていることを世の中に広く知っていただきたいと考えています。

【小児がんの患者さんやご家族、医療従事者らに希望やぬくもりを】

小児がんの年間の新たな発症は約2000～2500人です。また、小児がんの種類は大変多いため、疾患のそれぞれは超希少がんと言えます。全国のさまざまな地で珍しい疾患を治療することになる子どもたちやご家族は、孤独を感じがちです。また、面会等も制限されるケースが多く、ますます寂しさを抱えています。世界中で灯されるゴールドの明かりは、今小児がん向き合っている子どもたち、強い治療を乗り越えた子どもたち、そのご家族や医療従事者らの励ましとなるはず です。

【世界保健機構(WHO) 小児がんグローバルイニシアチブの推進】

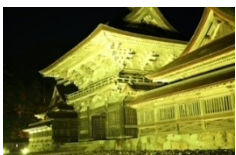
WHOは2018年9月に「2030年までに世界中でがんと診断された子どもたちの、少なくとも60%の生存を達成すること」を目標とする「WHO 小児がんグローバルイニシアチブ」を発表しました。世界レベルでの意識向上を通じて小児がんの優先順位を上げ、小児がんの最善の治療を提供する能力を拡大し、小児がんの治癒率が今の約2倍になり、今後10年間でさらに100万人の子どもが命が救われることを目指しています。

ゴールドセプテンバーキャンペーンはこのイニシアチブを大きく後押しするイベントのひとつです。

8. ライトアップ予定施設と日程

Pの図をご覧ください。

(電力需給ひっ迫などさまざまな理由で予定変更の可能性があります。)





アウェアネスリボン Awareness Ribbon (気づき・認識のリボン) とは

社会問題や難病に対して、世界で統一した色のリボンを身につけることで、啓発したり支援の姿勢を示したりします。

ピンクリボン



乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるシンボル

レッドリボン



エイズに偏見を持たず、患者を差別しないというメッセージのシンボル

ゴールドリボン



小児がんへの関心・理解・支援の呼びかけを行うためのシンボル

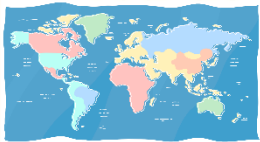


小児がん支援のシンボルカラーが「ゴールド」になった理由

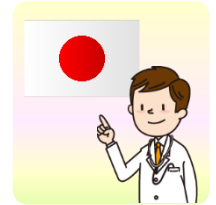
金（きん）は貴重な金属であるため、がんに立ち向かい、厳しい治療を頑張っている子どもたちは金のように貴重な宝物だとの思いから「ゴールド」がシンボル色になりました。「ゴールド」には、小児がんと向き合っている子どもたちと、彼らに必要な医療・ケアと研究に、「輝かしい光を当てる」という意味もこめられています。



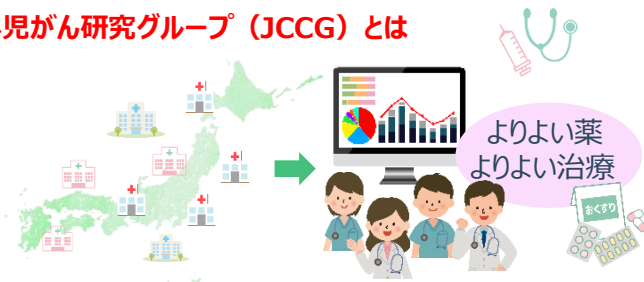
日本でも「世界小児がん啓発キャンペーン」を



希少がんである小児がんの治療には、世界的な協力も欠かせません。国際的なこのキャンペーンに、国際小児がん学会（SIOP）からJCCGへの参加呼びかけがありました。JCCGも世界と連携し、小児がんの啓発を推進していく予定です。



※日本小児がん研究グループ（JCCG）とは



日本小児がん研究グループ（JCCG : Japan Children's Cancer Group）は、子どものがんを治そうと、専門医など小児がんにかかわる医療従事者が結集したグループです。子どもたちのために、病院や地域の枠を越え、オールジャパンで治療の研究・開発に取り組んでいます。小児がんの子どもたちを治療する全国の病院ほぼすべて（約200施設）がJCCGに参加しています。

JCCG HP <https://jccg.jp/>

※小児がんとは

小児がんは、白血病や脳腫瘍など、子どもがかかるがんの総称です。大人のがんとは種類も、必要なケアも大きく異なります。日本では、年間2,000人～2,500人の子どもたちが小児がんと診断されています。15歳未満の1万人に1～1.5人という「珍しい疾患」ですが、5歳以上の子どもの病死原因では第1位を占める「命を脅かす難病」です。

※小児がん情報サービス https://ganjoho.jp/child/dia_tre/about_childhood/about_childhood.html

新型コロナウイルスのまん延により、小児がんなどの難病で治療・入院中の子どもたちは一層の不安や寂しさを抱える状況です。ただでさえ厳しい闘病ですが、感染症を予防するために大好きな家族との面会時間が制限されたり、外泊も難しくなったりしています。入院していない小児がんの子どもたちも、免疫力が低くなりがちのため、感染を警戒しています。JCCG 所属メンバー医療従事者は、全力で病気の子供たちを支えたいと考えています。

世界のライトアップ例



オーストラリア



アイルランド



スペイン



アメリカ合衆国

※参照資料あり ゴールドセプテンバーキャンペーン 2024 チラシ(裏表)

～お問い合わせ先～

※窓口

・JCCG 事務局広報室 加藤 希

【電話】 070-1345-1014 【Mail】 office-tokyo@jccg.jp

※小児がん医療の現場等専門的なこと

・JCCG 企画広報委員長、国立成育医療研究センター小児がんセンター長 松本 公一(きみかず)

【電話】 03-3416-0181 【Mail】 matsumoto-kmk@ncchd.go.jp

